

令和6年12月12日会議概要

第1 日時

令和6年12月12日（木）午前9時20分から午後0時00分までの間

第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長

《書記 公安委員会補佐室室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 議題

(1) 第41回京都府警察現場鑑識競技会の開催結果について

刑事部長から、本年11月21日、警察学校において窃盗事件を想定した現場鑑識競技会を実施し、上位3位までを表彰することとし、今回の競技会を通じて把握した課題については、各署に改善を促したり警察本部において教養の機会を設けたりするなどして、府警察全体の鑑識技能の向上を図っていく旨、説明があった。

委員から、「競技会で明らかになった課題について各署に還元し、それを克服してゆくことは大切なことである。」旨、発言があった。

(2) 「ポリス&カレッジ in KYOTO 2024」発表会開催結果について

交通部長から、本年12月8日、警察学校において、府内の大学を対象に、大学生ならではの若さと自由な発想で、社会実装を視野に入れた問題解決を提案していただく公募型の交通安全に関する調査研究「ポリス&カレッジin KYOTO 2024」を開催した旨、報告があった。今回は、「モビリティシェアリングにおける交通安全に向けた取組」を研究テーマとして開催し、京都先端科学大学阿部ゼミが最優秀賞を受賞したほか、京都産業大学高鷲ゼミが優秀賞、福知山公立大学杉岡ゼミが特別賞を受賞した旨、説明があった。

委員から、「いろいろな提案、発想があると思うので、取り入れられるところは取り入れていただきたいと思う。」旨、発言があった。

(3) 「令和6年 年末の交通事故防止府民運動」の実施結果について

交通部長から、「令和6年年末の交通事故防止府民運動」の実施結果について報告があった。運動期間中の交通事故発生状況と、取締結果等について説明があり、特に取締りについては、今秋、交通機動隊から各署に派遣した白バイで体制を組んで一斉機動取締りを行ったもので、質の転換を図り、機動力と活動を可視化することで危険行為を抑制し、安全運転を促す等、街頭活動に重点をおくほか、分析結果に基づき交通事故が多発する時間帯に入る前に、活動のポイントを集積した形で実施した旨、説明があった。

委員から、「年未年始、事故や違反が多発する時期の前にこれら取組を行うことは意義があると思う。引き続きよろしく願います。」旨、発言があった。

(4) 男子第75回・女子第36回全国高等学校駅伝競走大会に伴う交通対策の実施について

交通部長から、本年12月22日京都市内において行われる、男子第75回・女子第36回全国

高等学校駅伝競走大会の交通対策について報告があった。

参加校は、女子、男子ともに地区代表の11校を含め58校の参加となる。交通対策として、交通管制センターに交通部長を長とする対策本部を設置して、本部約50人、警察署約450人の体制のほか、自主整理員や警備員約780人の体制で行うもので、全国的に非常に関心の高い競技であり、しっかりと安全を担保しつつ交通の円滑を確保するよう指揮する旨、説明があった。

委員から、「新年にも駅伝が予定されており、立て続けであるがよろしく願います。」旨、発言があった。

(5) 集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例の許可状況について（11月申請分）

警備部長から、本年11月中に申請が許可された「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく、集会、デモの状況について報告があった。

(6) 大阪・関西万博に向けた大規模サイバー攻撃事態対処訓練の実施について

サイバー対策本部長から、本年12月19日、大阪・関西万博を見据え、当府警察が元立ちとなって、大阪府警・滋賀県警、関西電力やJR東海等と共に初となる大規模サイバー攻撃事態対処訓練を実施する旨、報告があった。国内でもシステムがサイバー攻撃を受けて障害が発生した事例もあり、世界的に注目を集めるイベントがあるとサイバー攻撃は必ずあるという認識のもと、今回、訓練を実施する旨、説明があった。訓練ではハッカー集団の犯行により、電力会社の大規模な停電が発生し、信号機滅灯による交通渋滞等が発生した想定で、大規模サイバー攻撃事態対策本部を立ち上げ、警察とインフラ事業者が連携して事案対処に当たる旨、説明があった。

委員から、「大阪・関西万博では、VIPが来られたり、交通対策や暑熱対策等、いろいろな課題がある中で、このような訓練は非常に大切に欠かせないものである。実施後、どのような課題が出てきたのかについても、フィードバックして報告してほしい。」旨、発言があった。

(7) 令和6年度京都府警察サイバー事案対処能力競技会の開催について

サイバー対策本部長から、警察職員を対象に競技形式の実践的演習を実施し、サイバー空間の脅威への対処能力の強化を図ることを目的として、令和6年度京都府警察サイバー事案対処能力競技会を開催する旨、報告があった。本部各部と各警察署の合計31チームが参加し、令和7年1月14日から16日までの間に予選、同年2月14日に決勝を行い、上位5チームを表彰する旨、説明があった。

委員から、「個々の対処能力の向上は大切であり、よろしく願います。」旨、発言があった。

2 警察本部長コメント

警察本部長から、「薬物対策に関して、大麻取締法と麻薬取締法の改正法が本日施行となった。薬物捜査担当の捜査第五課を中心に、広報啓発資料を作成するほか、若年層への蔓延が大きな課題となっているところ、生活安全部の少年課においても、学生のボランティア団体と協働して広報啓発資料を作成し、ポスターについては地下鉄や近鉄の駅で掲示が始まっており、引き続き改正法の趣旨を踏まえて適切に対応していく。」旨、説明があった。

3 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（1件）

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者（1件1名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 犯罪被害者等給付金（遺族）の支給裁定について（2件）

警務課次席から、被害者遺族による犯罪被害者等給付金の支給裁定申請に伴う調査・検討結果について説明があり、審議の上、給付金の支給及び不支給を裁定した。

(3) 運転免許に係る審査基準及び処分基準の改定について

交通部聴聞官から、「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律」の施行等に伴い、運転免許に係る審査基準及び処分基準の改定を行う旨、報告があった。

(4) 令和6年度信号機の撤去計画について

交通規制課交通安全施設担当補佐から、令和6年度信号機の撤去計画について説明があり、審議の上、決定した。

(5) 石川県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について

警備第一課警備対策官から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。

(6) 公安委員会宛て苦情について（受理2件、処理2件、意見・要望1件）

公安委員会補佐室長から、過日受理した公安委員会宛の苦情等申出1件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して受理2件意見要望1件の報告があり、処理方針を決定するとともに、過日受理した公安委員会宛の苦情申出1件について調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

4 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、17件の行政処分を審議した。

5 個別報告

当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。